

世界に広がる大気社

大気社は海外19か国に36社のグループ会社を展開しています。(2018年3月末現在)



拠点紹介



Taikisha Vietnam Engineering Inc. (大気社ベトナム)

1990年代、ベトナムでは経済の自由化に伴い、外国企業の直接投資が加速しました。当社も日本政府のODAプロジェクトを足掛かりに、日系企業からの受注が続きました。こうした市場ニーズに環境設備・塗装設備の両面から対応するために設立されたのが、大気社ベトナムです。1998年にハノイで活動を開始した大気社ベトナムは、その後ホーチミンにもオフィスを構え、今年で設立20周年を迎えます。



ホーチミン事務所のスタッフ



ハノイ事務所のスタッフ

FOCUS

近年のベトナム経済は、雇用・所得の回復が個人消費を押し上げ、高成長が続いています。

外国企業にとっては、中国に隣接しASEAN諸国への拠点となるアクセスの良さや、FTA(自由貿易協定)により主要国と関税ゼロで貿易を行える点が魅力となっています。さらにはベトナム政府の外国企業誘致策が追い風となり、今後も国内への直接投資は堅調に推移する見込みです。

大気社ベトナムはこうしたビジネスチャンスを最大限に活かし、事業拡大を目指します。

株式会社 大気社

証券コード:1979

環境をつくる技術は、未来をつくる技術。



この写真は大気社の海外拠点があるベトナムの世界遺産、ハロン湾です。ベトナムの拠点については、裏表紙をご覧ください。

株式会社 大気社

〒160-6129 東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー
TEL:03-3365-5320(代) FAX:03-5338-5195
<https://www.taikisha.co.jp>



第73期 株主通信
2017.4.1 ▶ 2018.3.31

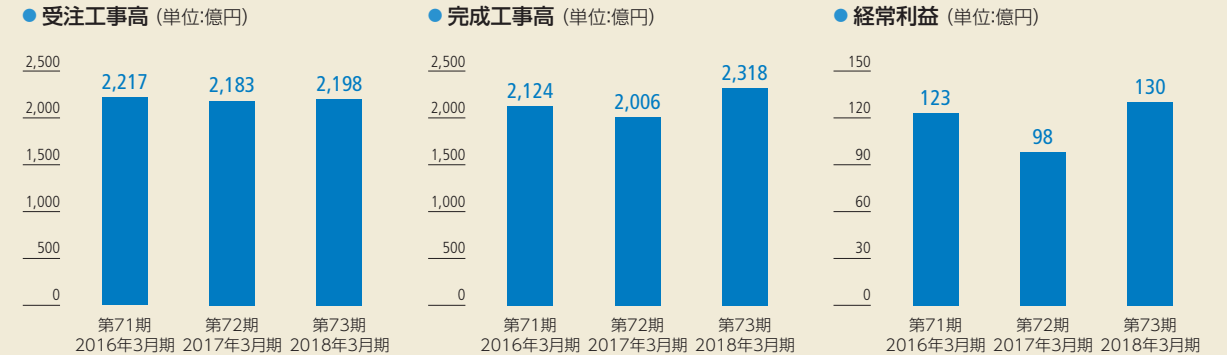
株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび当社第73期の事業年度(2017年4月から2018年3月まで)を終了しましたので、概況につきましてご報告申し上げます。

代表取締役社長 芝 利昭



業績ハイライト



当期の事業環境について

環境システム事業では、タイなどの海外市場において、日系顧客による設備投資が依然として低調な状況が続きました。一方、国内市場は前期に引き続き、東京都心における再開発を中心に建設需要が高い状況が続きました。また、スマートフォンや自動車電装品向け電子部品メーカーによる投資も好調に推移しました。

塗装システム事業においては、競争環境は一段と厳しさを増しているものの、北米、中国で積極的な投資が行われ、インドでも投資拡大の動きが見られました。

当期の業績について

大気社グループにおける当期の業績は、国内産業空調事業が大きく寄与したことにより、受注工事高2,198億円、完成工事高2,318億円となり、期初予想を上回る結果となりました。

利益については、上期に塗装システム事業で発生した不採算案件の影響もありましたが、好調な国内産業空調事業の受注および完成工事高が大幅に増加したことにより、

経常利益130億円、親会社株主に帰属する当期純利益72億円となり、期初予想を上回ることができました。

今後の取り組みについて

環境システム事業については、安定した受注を確保するために、さらなる原価低減活動や技術提案型受注活動から顧客維持と新規顧客開拓に取り組めます。海外事業に関しては、これまでの実績を生かし、現地企業や欧米企業からの受注拡大を目指すと同時に、事業環境の変化に合わせた拠点の経営・事業体制の改善を進めていきます。

また、中長期的な成長に向けては新規事業や周辺事業の拡大を目指し、植物工場ビジネス、超高性能環境試験装置、VOCガス完全除去装置をはじめとする環境ビジネスへの取り組みを強化していきます。

一方、塗装システム事業においては、引き続き海外拠点に対するガバナンス体制の強化を推進していきます。あわせて技術力の強化も大きな課題と捉え、まずは主軸である自動車塗装設備において、より高度な顧客ニーズへの対応を目指します。お客さまの要求事項に的確に応えることで、技術の差別化を図ります。

また、中長期的な事業拡大を見据え、自動車の領域で培ったノウハウを生かして航空機、鉄道車両などの塗装設備の自動化システムを拡充し、大気社ブランドの確立を目指します。現在、これらの取り組みを推進するための研究施設として、神奈川県座間市に開発統合センターの設立を進めており、2018年度中に完成する予定です。

欧米企業に対しては、海外関係会社であるイタリアのジェイコ社、アメリカのオンコア社とのアライアンスを深め、さらなるシナジー効果を生み出すことで営業展開を推進します。

さらに、このような事業活動を支える基盤整備を強化するため、働き方改革への対応にも注力していきます。当社の最大の力ぎは現場業務の負担軽減であり、すでに人材の確保をはじめ、現場業務の平準化や後方支援チームによるサポートの充実、現場支援のためのIT化・システムサポート、アウトソーシングの活用といった活動を、ひとつひとつ進めているところです。

特に今期は人材力の向上に向け、人事制度を大幅に改訂しました。同時に社員のスキルアップ教育にも注力し、経営基盤の強化を図ります。また、今期より新たな基幹システムを導入し、経営インフラ基盤の拡充を目指します。

当社はすべてのステークホルダーから高い信頼と評価を得られるよう、引き続き経営目標達成のために全力をあげて取り組んでまいります。今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

TVCM

TVCMがオンエアされました

2018年1月、当社のTVCMがテレビ東京系列でオンエアされました。静止画像をつなぎ合わせる「コマ撮り」という手法で制作されたCMは、飛び出す絵本をコンセプトにしています。事業内容をストーリーにして紹介することで、当社の事業が人々の生活にどのように結びついているのかを、ステークホルダーの皆さまにわかりやすく伝えることを目的としています。

<https://www.taikisha.co.jp/cm/index.html>





環境システム事業部

経営資源の優先配分とお客さまへの積極的な提案活動により、さらなる受注拡大を目指します。

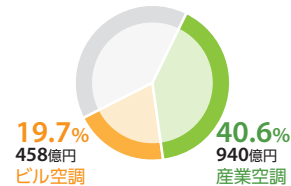
当事業部は、クリーンルームなど工場向けの空調設備を設計・施工する産業空調分野と、オフィスビルなどの空調設備を設計・施工するビル空調分野を国内外で展開しています。

産業空調分野ではIoT・AI・自動運転システム等への電子部品の需要拡大が期待されることから、関連企業の設備投資が増加すると見込んでいます。また経済が回復傾向にある海外市場では、非日系顧客の投資増ならびに日系顧客の投資回復が期待できます。

一方、ビル空調分野では、首都圏の再開発におけるオフィスビルの新築投資が期待されます。長期的には既存ビルを更新するリニューアル市場の比率が高まると予想しています。

今後の取り組みとしては、投資が伸びる分野や市場を見定め、迅速な対応と経営資源の優先的な配分を行うとともに、需要の増大が予想されるメンテナンス・リニューアル物件についても、お客さまへの積極的な提案活動を推進します。また、海外市場においては日系のみならず、非日系企業のニーズにも幅広く応えることができる営業と施工の体制づくりを行います。

● 環境システム事業部売上高
累計期間:2017.4.1~2018.3.31



Green Technology System Division

東和薬品・山形工場で生産能力増強工事が完了

2018年1月、東和薬品の山形工場において、第二管理試験棟・第二固形製剤棟が竣工しました。これは2020年9月までにジェネリック医薬品の使用割合を80%以上に引き上げるという政府の方針を受けての生産能力増強工事で、工場全体の年間生産能力は従来の1.4倍となります。当社は本プロジェクトの空調・衛生設備を請け負いました。



塗装システム事業部

経営資源の優先配分と海外グループ会社との連携により、さらなる受注拡大を目指します。

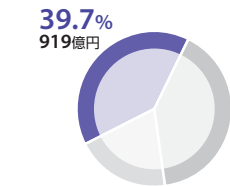
当事業部は、国内外の自動車メーカーを主要なお客さまとして、自動車塗装プラントの設計・施工を行い、この分野で世界トップクラスの売り上げを誇ります。

自動車塗装分野では、自動車販売が好調な中国・インドや、設備更新需要が増大する見通しのアメリカにおいて、投資の拡大が期待されます。

今後の取り組みとしては、成長性が見込まれる市場に対して経営資源を優先的に配分し、より効率的に対応できる組織づくりを行います。

また、海外グループ会社との連携により、非日系自動車メーカーからの受注拡大や、航空機・鉄道車両・船舶など自動車以外の塗装設備事業、コンベヤシステムなど、周辺領域への事業拡大にも積極的に取り組んでいきます。

● 塗装システム事業部売上高
累計期間:2017.4.1~2018.3.31



Paint Finishing System Division

ダイハツ九州新樹脂塗装ラインが竣工

2017年10月、ダイハツ九州・大分(中津)工場の新樹脂塗装ラインが竣工しました。この工程では、当社が開発した樹脂塗装システムが採用され、塗装の精度向上と塗料廃棄損失の低減を実現しました。



国内外に植物工場実証開発センターを設立

当社で展開している完全人工光型・水耕栽培植物工場システム「ベジファクトリー」は、これまで世界初の結球レタスの安定量産化や、生産から加工までを一貫して支援するサービスなどを提供してきました。近年は野菜の安全性や品質への関心が高まり、企業の引き合いも増加しています。このような状況のもと、当社では顧客ニーズへの対応やさらなる認知度向上を目指し、国内外に以下の関連施設を設立しました。

実証開発センター(東京都 板橋)

大気社ベジファクトリーの施設を見学していただくとともに、顧客の主なニーズである、栽培環境を変えて行う品質改善、量産技術、新商品開発などの実証にフレキシブルに対応します。



ショールーム(タイ国 アユタヤ)

製品サンプルとして商品レベルのレタスの栽培を行うと同時に、ショールームとしての機能を有し、ASEAN圏へのPR拠点としてベジファクトリーや生産品のブランド化を推進します。



鉄道車両における挑戦 — 塗膜研磨工程の自動化

鉄道車両は図のように、5層の塗膜から構成されています。このうちパテ・中塗り・上塗りの工程で行われる塗膜の研磨は、未だ手作業が主流となっています。

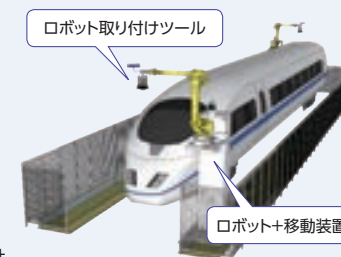
そこで当社は、この時間と手間を要する塗膜研磨工程に着目し、パテ工程の塗装後に生じる塗膜の凹凸を3Dスキャナーで計測し、ロボットが自動で凸部のみ削ぎ落とすシステムを開発しました。さらに中塗りや上塗り工程に関しても、当社の子会社であるオンコア社の航空機向け自動研磨技術を応用したシステムを開発しました。これらの塗膜研磨工程の自動化により、塗膜品質の向上はもちろんのこと、作業の効率化や省エネルギー化を実現しました。

今後は鉄道車両市場で設備投資の増加が期待される中国市場に向けて、自動研磨システムを展開していきます。

鉄道車両の塗膜構成

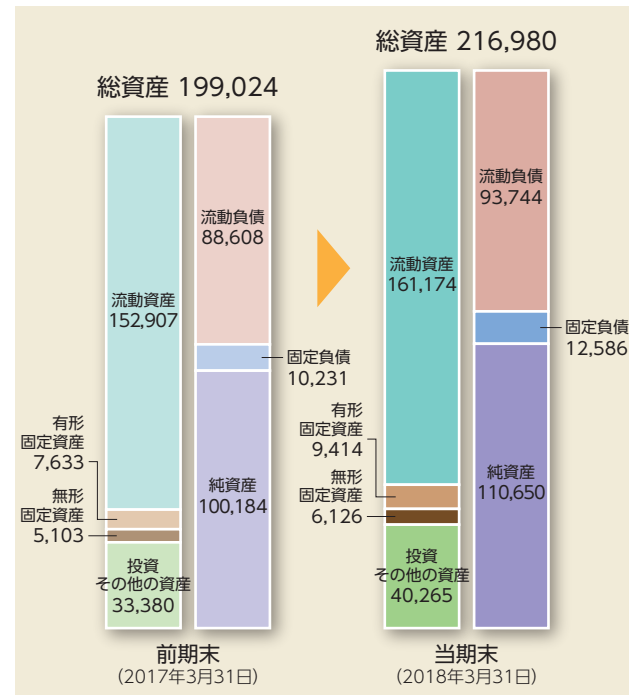


塗膜研磨工程における自動化のイメージ

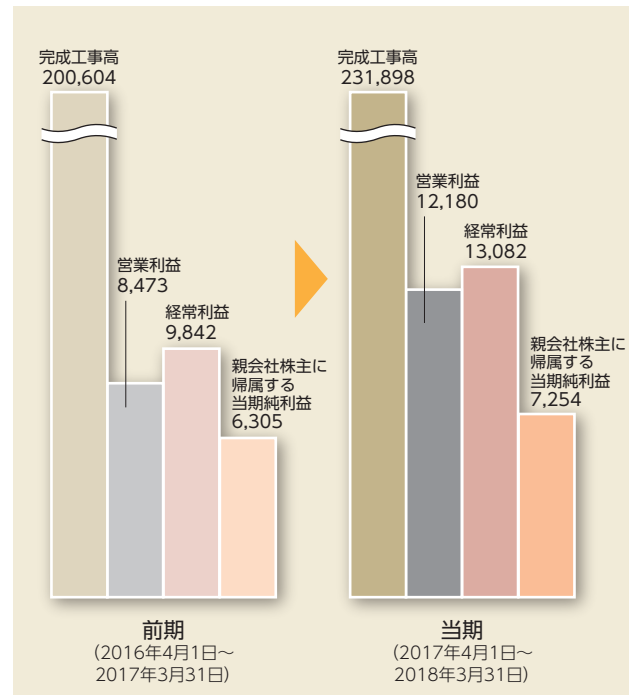




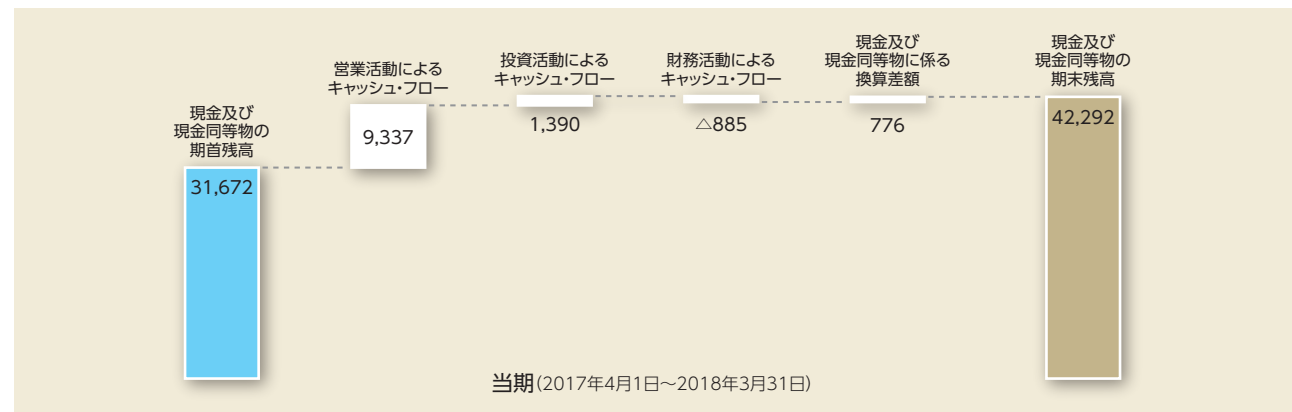
連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)



会社概要 (2018年3月31日現在)

商号 株式会社 大気社 (Taikisha Ltd.)
 創業 1913年4月10日
 設立 1949年7月7日
 資本金 6,455百万円
 従業員数 (個別) 1,478名 (連結) 4,834名
 グループ企業、取締役および監査役、株式情報については下記URLにてウェブサイトをご覧ください。
 【グループ企業】
<https://www.taikisha.co.jp/corporate/group/index.html>
 トップページ > 企業情報 > グループ企業
 【取締役および監査役】
<https://www.taikisha.co.jp/corporate/officer.html>
 トップページ > 企業情報 > 役員紹介
 【株式情報】
<https://www.taikisha.co.jp/ir/stock/info.html>
 トップページ > 株主・投資家情報 > 株式・株主情報 > 株式情報

株主メモ

証券コード 1979
 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 基準日 定時株主総会・期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日
 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社
 事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
 郵便物送付先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
 電話お問合せ先 ☎ 0120-288-324 (フリーダイヤル)
 公告方法 電子公告により行います (当社ウェブサイトに掲載)。
 ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

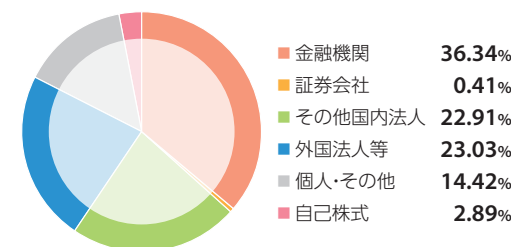
株式状況 (2018年3月31日現在)

発行可能株式総数 100,000,000株
 発行済株式の総数 35,082,009株
 株主数 3,016名

大株主 (所有株式数上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,730	8.02
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	2,103	6.17
株式会社建材社	1,730	5.08
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,298	3.81
大気社協力会社持株会	1,023	3.00
株式会社第二建材社	1,000	2.94
いちごトラスト・ピーティーイー・リミテッド	992	2.91
ザバンク オブ ニューヨーク メロン (インターナショナル) リミテッド 131800	942	2.77
住友不動産株式会社	899	2.64
大気社社員持株会	873	2.56

所有者別株式分布状況 (株式数比率)



(注) 1.当社は、自己株式1,012,999株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。
 2.「持株比率」は、自己株式を控除して計算しております。
 3.「持株数」は千株未満を切り捨てて表示しております。